

草津市立  
老上中学校  
学校だより  
R4(2022). 5. 25

# 老中魂

「校訓」  
「自主・創造」  
文責 竹田 敏彦

《何事も前向きに頑張る姿！最高です！！》

新学年になってほぼ2か月がすぎましたが、学校生活にはもう慣れましたか。この時期は四季の中でも過ごしやすい時期で、花が咲き、新緑と梅雨前のさわやかな気候になっています。ただ、今年は例年になく寒暖差が大きい日が続いており、週の中でも暑い日や寒い日があり、1日のなかでも日中と朝晩の寒暖の差が大きく、体調管理が大変難しく感じております。そんな中、コロナ禍ですから、さらに手洗い、うがい、マスク着用を意識して感染対策を行っていきましょう。

最近、校舎内を見回っていて、各学年とも今まで以上に授業中の姿勢がよくなっているように感じます。よく「気持ちは姿勢に表れる」といいますが、2年生は先輩に、3年生は最上級生になった自覚と責任、そして新年度への気持ち（意欲）がその姿勢に表れたのだと思います。先日も校長室からグラウンドを見ていると、各学年とも保健体育の授業で長距離走を行っていました。自分のタイムを1秒でもあげようと、参加した生徒全員が最後まで手を抜かず一生懸命走っていました。このことだけでも素晴らしいのですが、それ以上に走っている仲間を応援している姿に心動かされました。生徒はそれぞれ運動能力がちがいます。運動が苦手な生徒もいます。できれば走りたくない生徒もいますし、徐々に遅れだし、やるせない気持ちで走っている生徒もいます。ただそのような生徒を「頑張っている仲間」として認め、応援する姿は学校のあるべき姿だと強く感じました。このこと



ことは保健体育の時間ではありません 各教科の授業においても、生徒は当然好き嫌いや得意不得意がありますし、学校生活全般においては、生徒同士の相性もあるでしょう。そのような中、授業等で生徒同士が学び合うこと、学校行事や部活動で一つの目標に向かって活動すること、日頃から笑顔で挨拶を交わすことが学校生活ではとても大切なことなのです。皆さんが何事も精一杯、前向きに取り組んでいる姿は頼もしく、最高に輝いています。この気持ちをいつまでも忘れないでいてほしいと思います。

# 1年生 矢橋帰帆島での仲間づくり

令和4年4月22日（金）に、矢橋帰帆島へ校外学習に出かけました。仲間づくりの取り組みとして大縄跳びやフラフープくぐりなど楽しいレクリエーションで汗を流しました。この日は天候にも恵まれ、日焼けする生徒もたくさんいました。



## 春季総体、吹奏楽祭が終わる

5月19日（木）、20日（金）の二日間、中学校春季総合体育大会が開催されました。また、吹奏楽部は滋賀県吹奏楽祭に参加しました。今年度の中学校春季総合体育大会は、昨年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため無観客、午前の部、午後の部に分け昼食をとらないなど生徒が密にならないよう各種目で工夫がなされ、感染対策を徹底し大会が開催されました。いくつかの競技会場に応援に行きましたが、天候にも恵まれ、生徒一人ひとりが全力を尽くして競技をしている姿に、たいへん感銘を受けました。春季総体を終えて、夏季大会、演奏会に向けていろいろな課題が見つかったのではないのでしょうか。自分たちに足りないところを分析しながら、次の大会に向けて努力をしてください。練習を続けていけば、きっと次は満足いく結果をものにできると思います。

